

# 理事長挨拶

## 学校法人 加計学園

理事長・総長 加計 晃太郎



戦後、創立者加計勉は、一面の焼け野原となった広島で「資源の乏しい我が国の復興には教育こそ肝要」との信念のもと教育の道を志し、昭和36年に加計学園を設立しました。以来、「ひとりひとりの若人が持つ能力を最大限に引き出し 技術者として社会人として 社会に貢献できる人材を養成する」という建学の理念のもと、時代や社会のニーズを先取りした特色ある教育研究事業を展開し、現在、3大学、1高等学校、1中学校、3専門学校を擁する、中四国で有数の教育研究機関へと発展して参りました。

本学園は、豊富な教育資源と長年積み重ねてきた経験をもとに、平成24年度も本学園独自の教育研究事業を展開してきたところであります。岡山理科大学では、4番目の学部として生物地球学部を開設しました。この学部は、野外実習等のフィールドワークを主要な教育・研究方法としながら、これらを通して大自然のメカニズム、自然環境の変遷、人間と環境の関わり方の歴史に関する幅広い知識を習得させ、複雑な社会ニーズに応え、現在、我々人類が直面している様々な諸問題を解決できる人材の育成を目指して参ります。

倉敷芸術科学大学及び千葉科学大学は、地域との関わりを深め地域密着型大学としての存在感を高めるよう努力しました。

岡山理科大学附属高等学校は文部科学省からSSH指定校に選定されたことを契機に中高大が連携した、理科教育の実現を目指して岡山理科大学附属高等学校、中学校ともに教育内容の質的改善に全校を挙げて取り組みました。

専門学校においては、専門的技術や知識の習得及び国家資格等の取得を通して社会に役立つ人材の育成に努めました。

以上のとおり、平成24年度は高等教育機関としてキャリア教育に力を注ぐとともに教育研究内容の抜本的改善に努めました。また、海外の教育交流協定校との国際交流やイメージ教育の導入、留学生による日本語弁論大会等グローバル化に向けた取組みを推進しました。